

乍恐以書付奉申上候

一、鉄砲 一挺

但長三尺三寸
玉目二匁三分

右者相州津久井県若柳村役人惣代
組頭山三郎奉申上候、当村八郎兵衛義、
前書無判之鉄砲從來所持罷在候処、
去戌六月中八州御取締湯原平乃
助様中野村名主源左衛門方ニ御旅宿
被遊候節、四季打并獵師筒其外共
御改ニ付、村役人共ニ而篤与取調、員数
帳面ニ認奉差上候処、右鉄砲御用之節八
日連村三右衛門方迄持参可致旨被仰聞
候ニ付、則村役人共より持主八郎兵衛江相
預ヶ置候処、同人義同年十月十六日夜
平生之通戸(締)メリいたし打臥、翌十
七日朝起見候処、裏戸口明ヶ有之候ニ付
家内相改候処、座敷内戸棚江仕舞
置候右鉄砲相見へ不申趣村役人方へ

知らせ来候間、早速罷越相糺候処、
家内怪敷ものも無之、金盗賊之
仕業ニも可有之与存、所々遠近とも
相尋候得共、一切手懸り相知不申候間、
其段翌十一月十四日御訴奉申上候処、
其節より昨十五日迄追々三十日限
尋被仰付候ニ付、尚遠近共精々無恐
相尋候得共、今以一切手掛相知れ
不申候間、無是非此段御訴奉申上候、
以上

天保十亥年三月十六日

相州津久井県
若柳村
役人惣代
与頭山三郎

江川太郎左衛門様
御役所

前書之通御訴奉申上候処、尚又今十六日
より来四月十五日迄三十日限尋被仰付
承知奉畏候、依之奥書を以御請印形
奉差上候、以上

江川太郎左衛門所様
御役

亥三月十六日

右
山三郎